

製品名: Slit3 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab17974**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率 IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:20000-1:40000

分子量

抗原情報

遺伝子名	SLIT3
別名	SLIT3; KIAA0814; MEGF5; SLIL2; Slit homolog 3 protein; Slit-3; Multiple epidermal growth factor-like domains protein 5; Multiple EGF-like domains protein 5
遺伝子 ID	6586.0
SwissProt ID	O75094
免疫原	ヒト Slit3 の内部領域から得られた合成ペプチド。

背景

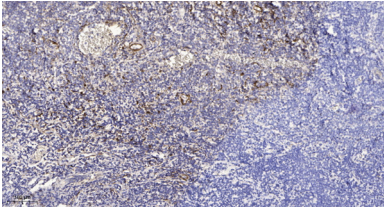
この遺伝子によってコードされるタンパク質は分泌され、おそらくラウンドアバウト相同受容体と相互作用して細胞遊走に影響を与

えると考えられます。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする 2つの転写バリエーションが見つっています。[RefSeq 提供、2012年12月]、機能: 細胞遊走における分子ガイダンスシグナルとして作用し、ラウンドアバウト相同受容体との相互作用によって機能が媒介される可能性があります。、配列注意: インترون保持。、類似性: CTCK (C末端シスチンノット様) ドメインを1つ含む。、類似性: ラミニンG様ドメインを1つ含む。、類似性: LRR (ロイシンリッチ) リピートを23個含む。、類似性: EGF様ドメインを9個含む。、組織特異性: 主に甲状腺で発現する。、

研究分野

軸索ガイダンス;

画像データ



パラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:200 に希釈した (4°Cで一晩)。2、抗原賦活化には Tris-EDTA、pH9.0 を使用した。3、二次抗体を 1:200 に希釈した (室温、30分)。